昆虫クイズ　2020 年 4 月　解答例とミニ解説

1　次の昆虫の名前を答ください。標本が博物館内にあります。探してみましょう。

[　アサギマダラ　]

[　ツマキチョウ　]

[　オナガアゲハ　]

[　ゲンゴロウ　]

[　コクワガタ　　]

[　キカマキリモドキ　　]

○　アサギマダラ

長距離（ちょうきょり）の移動（渡り）をすることで有名なチョウです。体内に毒（どく）をもっていてゆったりと飛びます。夏には山地の林等に飛来（ひらい）し、ヨツバヒヨドリ等の花に集まります。美ヶ原で捕まえられ、ペンで翅(はね)にしるしをつけた個体（こたい）が、四国、九州、沖縄や台湾で再捕獲（さいほかく）された記録があります。（増沢敏弘（2020）塩尻市立博物館紀要第 18 号）　**※マーキング調査といい、各地で行われています。**

○　ツマキチョウ

春にタンポポなどさまざまな花に飛来します。オスの前の翅（はね）の先が黄色なのが名前の由来です。「ツマ」は、着物（きもの）の裾（すそ）のはしの部分をあらわし、ほかにもツマグロヒョウモンなども翅の先の色から名づけられています。

○　ゲンゴロウ

館内で飼育しているゲンゴロウの仲間の中でもっとも大型で成虫、幼虫とも肉食です。

2　次の３択クイズの正しいものは何番ですか。まるをつけてください。

ア　成虫(せいちゅう)で越冬(えっとう)（冬越し）するクワガタはどれ？

①　ノコギリクワガタ　　②　ミヤマクワガタ　　③　コクワガタ

○　ノコギリクワガタやミヤマクワガタ、カブトムシの成虫は、秋には死んでしまいます。

イ　次の昆虫のうちサナギにならない（不完全変態）のはどれ？
①　キリギリス　②　モンシロチョウ　③　ノコギリクワガタ

ウ　次の昆虫のうちさなぎになる（完全変態）のははどれ？
①　トンボ　②　シロアリ　③　アリ

○　昆虫の変態（へんたい）

昆虫は卵からかえって幼虫（ようちゅう）が成虫（せいちゅう）になるまで、原始的（げんしてき）な仲間（シミなど）を除き、姿や生活のしかたを変えるのがほとんどです。

例えばチョウは、幼虫のときはひたすら草や木の葉を食べて大きくなり、さなぎの期間をはさんで、成虫になると飛び回って相手を探し子孫（しそん）を残します。
変態することによって、生活の場所を広げて生きることができているのです。これは生き残りや仲間を増やすのに有利になります。

・無変態　幼虫はそのままの姿で大きくなり成虫になる
シミなど
・不完全変態　幼虫から成虫になるまでの間にさなぎの期間が入らない
バッタ、トンボ　カメムシ（セミ）など
・完全変態　幼虫から成虫になるまでにさなぎの期間が入る
甲虫（カブトムシ、クワガタムシなど）、チョウ、ハチ、ハエなど

エ　実在するトンボ（昆虫）はどれ
①　イトトンボ　②　ヒモトンボ　③　ゴクラクトンボ

オ　幼虫のときに地面にすり鉢状の「アリジゴク」と呼ばれる巣を作る昆虫はどれ？
①　オオアリクイ　②　ウスバカゲロウ　③　アオカゲロウ

カ　21 世紀になって発見され、歩く様子から名づけられた昆虫の分類（目：もく）はどれ？
①　シノビアシ目　②　ツマサキダチ目　③　カカトアルキ目

○　昆虫の世界の新分類カカトアルキ目（もく）

生物の世界では「種（しゅ）」を基本単位として共通の特徴（とくちょう）を持つものをまとめ、その種に近い仲間を「属（ぞく）」、その属に近い仲間を「科（か）」、さらにその科の仲間を「目（もく）」としてまとめています。（さらに上は「綱」・「門」「界」です。）
（例　動物界―節足動物門―昆虫綱―チョウ目―アゲハチョウ科―ヒメギフチョウ）

２００２年４月に昆虫類にあらたな「目」としてカカトアルキ目が加わり、ガロアムシ目が発見されて以来８８年ぶりの新発見と話題になりました。

体長２ｃｍほどでバッタとカマキリ、ナナフシの特徴を併せ持って、6 本の肢のつま先を上げて「かかと」で歩きます。博物館に標本もあります。

3　次の漢字はなんと読むでしょうか？
①　子負虫〔　コオイムシ　〕　②　象虫〔　ゾウムシ　〕　③沢蟹〔　サワガニ　〕